



# 花の会ニュース

2015年4月号  
no.165

編集人/ 社会福祉法人 花の会 広報委員会 連絡先/ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9  
TEL 072-692-2859 FAX 072-693-3603  
★WEB <http://www4.ocn.ne.jp/hana-net/index.html> ★E-mail [hana-net@minos.ocn.ne.jp](mailto:hana-net@minos.ocn.ne.jp)

## 第44回

# 花の会 バザー

開催日: 5月24日 (日)

場所 南平台3丁目西バス停前  
共働舎花の会敷地内

時間 9:30 ~ 14:00

洋服・靴・雑貨・家具・本  
電化製品・おもちゃ類に至るまで  
掘り出し物を沢山ご用意して  
お待ちしております!

大抽選会や模擬店もお楽しみに♪



## 第32回

# 花の会総会・交流会

開催日: 6月13日 (土)

場所: 高槻現代劇場3階  
レセプションルーム

時間: 総会 10:00~11:30

交流会 11:45~14:00



「そうじ」について

花の会では事業(所)の「利用者」を「メンバー」と呼んでいます。職員は「ワーカー」と呼ばれます。作業所が始まった当時「先生」と呼ばれること「呼ばせることに異論があったことから、そうすることに決めて現在に至っている。

この頃のコラムは、面白くないと言われてきました。もっと、日常を書くことが必要だと思った。村瀬孝氏の「診断理性批判」を紹介したかったが、別の話題とした。

テーマは「掃除」です。花の会では、事業所の掃除は職員とメンバーでやります。床のワックス掛けや、粗大ごみの処理等々、時間と手間がかかります。花の会は貧乏やからと、普段は言ってしまいますが、建物の大切さや設備状況への配慮を日常で、ワーカーが気づくことを願っての決まりです。入職者の中には掃除は「職員の仕事ではない」とのたまった人もいた。

当初の無認可作業所は「すごい」文化住宅であった。15年修理しながら使用したし、今も賃貸での施設は旧「薬」の建物ばかりである。隙間風や雨漏りがしても、みんな何とかがしてきた。楽しい場所とすることができる、がんばっている。そのことを知り、床にゴミが落ちていたら、誰もが拾い。必要な修理や改善をみんなで行う。その心意気です。

しかし、トイレの掃除は辛いものがあります。テレビでどこかの企業の社長がトイレ掃除を日課にする美談があったが、多分、掃除の担当者は「なぜっ」を抱えていると思う。よくトイレ臭は施設の臭いと言われる(今はそうでもないが)。そう感じる感性を期待したい。そして、そういう事業所にしない感性を持ってもらえたら、とも思う。今、清掃(施設管理)の部門を作り当事者の雇用を検討しているが、掃除だけしか当事者の仕事を見つけれられないのか、の疑問も持ちながら...

(やまだのかかし)

日中活動支援よりの報告 生活介護

# ようこそ！花の会へ 新メンバーご紹介



森田 健一郎さん  
身体を動かす作業を頑張っています。足し算が大好きで、100マス計算が得意です！筆算をすれば、何ヶタでもOK♪



前田 大輝さん  
いつもにこにこ素敵な笑顔を見せてくれます。体は小さいけど、ご飯はたくさん食べています。外の景色を見るのが大好きです。



伊藤 真夢さん  
慣れるまでは時間がかかると聞いていましたが、顔見知りのメンバーがいたようで、案外早く慣れていきます♪荷物を運ぶ時は積極的に運んでくれる伊藤真夢さんです。



清 真梨亜さん  
まだまだ緊張気味ですが、少しずつ笑顔や言葉が出るようになってきました。色々なお仕事にチャレンジ中です。ちなみにドライブが大好きです。



小幡 海星さん  
作業はなんでも意欲的に取り組み、1度伝えると次からは一人でできます。外の作業（農作業やチラシ配りなど）や内職が大好きな小幡海星さんです。



吉田 直生さん  
高槻支援学校を卒業して4月からスイートピーに来ました。皆と楽しく、店番や値付けを笑顔いっぱい頑張っています。



松田 杏奈さん  
愛らしい笑顔が印象的で歌が大好きな松田さん♪値つけ作業ではホッチキスを上手に使えます。これから色々な事に挑戦していきたいです。



弓樹 興賢さん  
いたずらが大好きな(?)、愛嬌いっぱいの弓樹興賢さん。4月からチューリップにいられています。もうすっかりチューリップの一員として活動中。周りの人を笑顔にする…そんな素敵な男性です。



# クリスマス会



# 第2共働舎編

今年のクリスマス会は、各事業所でのクリスマスとなりました。

第2・第4とは午前中一緒に関西電力の方による「リース作り」と家族会のHKUによる踊りでした。

関西電力の方には、E班で作っているパンの詰め合わせをみんなのメッセージと共に今年入ったメンバーから渡し、その後のHKUではメンバーも加わりノリノリの「妖怪体操」で盛り上がりました。

午後からは、第2は「花コレ」と題してファッシ

ョンショーを行いました。

飾り付けから司会をはじめモデルを決めてメンバーが色々な服を選んでモデルに着せる作業などメンバー中心の「花コレ」で、みんな自分の好きな服や着たい服を選んだり賑やかな時間をみんなで過ごしました。

最後の締めはみんなで手作りのクリスマスケーキで「美味しく」終わりました。(第2共働舎 松本佳美)



# お疲れさま!

# 忘年会

# 共働舎編

12月27日(土)共働舎の食堂で忘年会を行いました。当事者会副会長の泉吉之助さんの「1年間お疲れ様でした。乾杯」と元気いっぱいの挨拶で忘年会の始まりです。昼食のメニューは豪華オードブル。



おいしい料理にみんな満足の様子。食事の後、第一部は毎年恒例の新人ワーカーによる出し物。今年は4人のワーカーが白塗り

化粧にかつら姿、今話題の『あけみちゃん』に扮して登場し二人羽織の披露でメンバー・ワーカーを楽しませてくれました。第二部はみんなが楽しみにしていたビンゴゲームです。D班の山本雅子さんがビンゴを回すと、C班の小林隆浩さんが出た数字を読み上げます。数字が読み上げて行くうちにあちこちで「ビンゴ!」と弾んだ声が飛び交います。ステージ上に並べられた大小ぬいぐるみなどの景品。ビンゴになったカードと交換です。最後に一人ひとり「1年間の思い出と来年への抱負」を発表しました。

楽しい時間で1年を労い、みんな笑顔で終えることができました。(共働舎花の会：大西佐知)

# クリスマス会



# あじさいクラブ編

あじさいクラブには、1週間毎日顔ぶれの異なったご利用さんが通ってこられますので、1回のクリスマス会ではなく、週単位で取り組んでいます。今回は、あじさいで製作したものからも、お家の方々と共にクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきたい…との思いから、リースとツリーを作って持ち帰っていただきました。2~3週かけて作られた子どもさんたちの創造力の結晶は、それぞれに個性ある仕上がりになり、ご家族から「さっそく飾っています」とうれしい報告を多数いただきました。

ご利用さんがとっても楽しみにしているおやつも、クリスマス仕様のゼリー(プリン)アラモードを、一人ずつ作っていただきました。いつもの手作りおやつとはまた違う、飾り付けの楽しみを一人ひとりに経験していただき、自分だけのオリジナルデザートでの笑顔溢れるクリスマスとなりました。

(あじさいクラブ 松田直子)

## 地域生活支援よりの報告 グループホーム・ショートステイ

### 17番目のグループホーム がえて 誕生しました

新ホーム「かえて」が2月より開所しました。

5名のチャームなメンバーさんが入居されましたので、ここで簡単に紹介させていただきます。まず、養護学校を卒業されたばかり、3月中旬から第三共働舎で活動される今村彩美さん。今村さんは夜に強く朝が弱い。ほぼ毎朝世話人が「いい加減に起きろ～」と声かけしています。しかし、それ以外はとてもしっかりされていて、将来は一人暮らしがしたいとおっしゃっています。次に、チューリップでお仕事をされている、とても几帳面できれいな好きな寒川由美子さん。稀にパニックを起こしますが直ぐに回復。寒川さんの食器洗いの丁寧さは世話人顔負けです。そして第2共働舎でお仕事の天満ひろみさん、林佐知子さん、山元邦子さん。天満さんは気配りの達人で、達人故にお疲れモードになってしまうことがあります。声かけのタイミングや言葉の選び方など、これまた世話人はボロ負けです。林さんは笑顔の達人。一瞬のニツとした笑顔も、「めっちゃ面白い～」とグラグラ笑う表情も、周りの人を笑いの渦に巻き込んでしまいます。全く自分が悪くな

い場面でも空気を読まれてか「ごめんなさいね」とおっしゃる一面もある神経細やかさんです。山元さんは時々お怒りモードになる事がありますが、それもお愛嬌。甘え上手でアマ～イ声でお願いされるとメンバーさん達はヨレヨレ～となり応じてしまうのでした。

以上のメンバー構成で順調にスタートしたと思われる「かえて」です。しかし、まだ1ヶ月しか経っていないこともあり世話人もメンバーさんもお試し行動の真最中。これから何が起こりますことやら、楽しみです。1年後・2年後に振り返った時、最初はこんなホームになると想像出来た？という大変身を起こしているかもとワクワクしています。「かえて」は木造2階建の一軒家、開設前に耐震工事、スプリングラー工事を行ったこともあり利用負担金が17グループホーム中ナンバーワン！なんて、自慢？もあります。♪ナンバーワンになれなくてもいい、元々特別なオンリーワン♪。おもしろくてけったいな、失敗を恐れず笑い飛ばせるようなホームにならないかなあ。(かえて世話人：弓場律子)



## スタッフ確保にご協力を！

2014年度は、昨年12月の男性グループホーム「すばる」の増員、今年に入って2月に女性ホーム「かえで」の開所と、男女合わせて8名の新たなメンバーが増えました。花の会のグループホーム数も17か所になり、82名（定員数は83名）のメンバーが地域生活をしています。一方、世話人は6名増えたものの、依然としてスタッフ不足は解消されておらず、世話人の負担が大きいという状況が続いています。待機メンバーの解消を目指すためにグループホームの増設は不可欠ですが、ホーム建設の

計画もあり、支援スタッフの確保が、今最大の課題になっています。私たちも世話人確保の取り組みを進めていますが、メンバーの生活を支えてくれる優しい方を紹介いただければと願っております。

また、支援スタッフの支援力の向上も大きな課題です。月に1回の内部研修などを実施していますが、来年度はさらに現場研修や外部研修など充実させていきたいと考えています。

(フラワーホーム 管理者 吉崎篤志)

## レスパイトに 鬼が来たよ！！

暖かい日が増え、春の訪れを感じられるようになりました。散歩に出掛けると、少しずつ膨らんだ蕾が花を咲かせる様子を見て、「小さい花、可愛いね。」「春がもう来るのかな？」と季節の移り変わりを目で見ているようです。

2月に、レスパイトでは節分の豆まきを行いました。職員が鬼の御面を被って登場しました！皆さんが豆を持って、「鬼は外～、福は内～」と悪い鬼を外に追い払ってくれました。一方では、鬼に抱き付き「大～好き。」と言う子もいれば、鬼に勝負を挑む子もいました。元気いっぱいの皆さんに鬼もビックリしていましたよ。(笑)

寒い日が続いていますが、皆さんの元気な声がレスパイトを暖かくしてくれています。まだまだ、寒さや乾燥が気になる時期ですので、感染症や風邪やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら、1日1日を大切に、今後もおもいきり楽しんで過ごしたいと思います。

(短期入所事業部 池ノ上静香)



## 友花会 ほろ酔い気分です



友花会には昼間の活動のほかにも年に数回夜間の活動があり、カラオケ忘年会や新年会を行っています。忘年会では好きなドリンクやビールを飲みながら、日々の仕事の話や、好きな歌を歌い楽しんでいます。新年会では鍋料理などを食べながら、今年の抱負を語りあっています。これらの時間が会員同士や世話人との交流を持ち、相談しあう絶好の機会となっています。

ただ、友花会の参加者もだんだんと高齢化してきていることもあり、ご家族の体調不良も考えられます。参加者との繋がりを築いていく中でそういった参加者の不安や悩みを聞き、よりよい形で地域の中で生活を続けていけるよう支援を行っていくことも『友花会』の大切な役割であると常に考えています。

(友花会担当 川畑智亮)



## 就労相談支援よりの報告 相談・就労移行・就労継続

# 高槻市障がい者就業・生活支援センターの役割

高槻市障がい者就業・生活支援センターは、働く相談をするセンターです。職業紹介はハローワークに連携・協力して頂き、就労準備なども各機関と連携を取り、就職に向けた相談もしています。職業紹介ができない分、就労準備相談や、仕事を続けるための定着相談もしているのが特徴です。

登録者は2015年2月末で970名を越え1000名になるのも間近で、ここ数年は約100の方が登録し、約100人弱の方の就職が決まっています。これは当事者のお力と各機関と連携させてもらって

るおかげです。しかしながら登録者が増え続け一人一人に丁寧な相談を行いにくい状況となっています。その課題を解決する為、たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワークを他機関連携で開催し、ネットワークにより質の高い支援を行える様に努めています。

これからも一人でも多くの方がより良く働ける様に活動していきますのでよろしくお願い致します。

(就業・生活支援センター 陸野肇)

## 「働く障がい者の集い」に参加して

去る2月7日土曜日、毎年恒例の『働く障がい者の集い』が、高障連と共催でゆうあいセンターにて行われました。仕事の都合で平日では参加できない人などにも参加してみたいという人もあって2年前から土曜日に開催されるようになりました。84名の当事者の参加がありました。乾杯のころには会場も埋まり、熱気ムンムンの中カンパ〜！今年は、新しい試みとして、地域の方のご協力で三味線の演奏もあり、いつもと違う雰囲気でした。おなかも落ち着いたところで、恒例の参加者全員にマイクを回しての自己紹介。時間の都合で少しずつではありましたが、皆さんが今働いている現場での状況や今後の意気込み、将来の夢などの話を聞くことができました。ほかの人がどのような思

いで働いているかを聞く事で、皆さん色々な刺激をもらうことができたのではないかと思います。

この集いには、第3共働舎花の会から巣立った元メンバーも毎年参加しています。今年は、7名が参加しました。メンバーだった頃に比べて凛々になった表情を見ることができました。

働く障がい者の集いは、高槻市内の福祉関係者と当事者、障がい者雇用をされる企業様、地域のボランティアの方など、多くの方のご協力で成り立っています。特に丸大食品様からは毎年ハム、ソーセージ等の寄付をいただいています。

この集いのように、企業で働く人たちが夢や希望や愚痴を語り合える場所が増えればと感じました。

(第3共働舎花の会 佐藤智昭)

## フォルツァでの

# 「集団認知行動療法」～前編～

就労支援センターフォルツァでは、就労・自立を目指す利用者のために様々なプログラムを用意しています。今回は自立訓練に特化したプログラムである「集団認知行動療法」を前編・後編に分けて紹介したいと思います。

☆ちょっと考えてみてください！

「日頃からよく連絡をとる仲良い友人に電話をしたがつながらない。何度も何度も電話やメールをしたがつながらず返信もない。」

◎こんな時、

- ①あなたはどんな気持ちになるでしょうか？
- ②その時に浮かんでいた考えはどのようなものですか？

同じ出来事があっても、誰もが同じ感情になるわけではなく、その時に浮かんだ「考え」により、感情は変わってきます。この考えを「認知」といいます。この認知に着目した心理療法が、認知療法・認知行動療法です。この療法は、認知のゆがみが気分・行動に影響すると考え、認知のゆがみと行動の修正を目指します。

認知行動療法の進め方については、次号の花の会ニュースでご紹介します。(フォルツァ 山田進治)



## 職員研修報告 毎年恒例！就ボツ合宿

恒例行事である就ボツ合宿が、2015年1月16・17日の二日間行なわれた。今年の合宿先は神戸市北区にある「しあわせの村」だ。天候は、曇りのち時々雨。研修内容は例年とは異なり、就ボツの理念やケアマネジメント、業務マニュアルといった基礎的な内容が多くあった。その為、私は初めての合宿参加だったが、センターの役割、業務内容、法人の理念等を深く理解することが出来て良かった。

また、グループワークをする時間も多く、相談員それぞれが、支援の仕方や対応の方法に少し違いがみられたことも印象深かった。この二日間の研修では、基礎的なことから実践的なことまで学べた為、有意義な時間を過ごす事が出来た。最後に私情だが、入職して一ヶ月足らずの合宿であり、少し不安もあ

った。しかし、講義だけでなく寄せ鍋やプチ宴会を行ない、楽しい時間を皆さんと一緒に共有させて頂いた。村名通りしあわせな気持ちになることができた2日間となった。

(就業・生活支援センター 佐伯志保奈)



## 相談支援センター スキップより サービス等利用計画導入の混乱の中で。。。

サービス等利用計画の導入から数年が経過しました。2015年3月末までに障がい福祉サービスを利用する方すべてに作成することが義務付けられています。順次対応できる体制を作るために2014年10月から意願の2名体制になりました！しかし相談支援専門員の数と作成が必要な方の割合から見ると到底間に合うものではないのが現状で、高槻市では約2400名の方が必要とされており、成人の方の計画を作成する相談支援事業所の数は9か所で、

各事業所では1名～3名体制で取り組んでいる状態です。サービス等利用計画よりもセルフプランを提出されている割合の方が多くおられます。2013年障害者総合支援法では「障がい者の意思決定支援を事業所の責務として規定」されています。地域に点在する様々な支援を、障がいのある方々が希望する生活に合わせて活用ができるように、これからもいろいろな方法を活用しながら相談支援を行っていきたいと思います。(スキップ 前川時恵)

## ガイドヘルパー養成研修中間報告

今年度2回目の花の会ガイドヘルパー養成研修(知的障がい課程)を2月23日(月)から開講しています。ガイドヘルパー養成研修の講義は花の会以外にも北摂杉の子会、路交館、であい共生舎から講師をお招きし、毎回、受講生からの反響もよく、講義を聞いても新鮮で気持ちがあらたまります。

今回は夜間に講義を行いました。夜間に講義を行うのは実に5年半ぶりとなります。夜間にニーズがあるだろうと予想しておりましたが、ここ数年は年々受講生の減少が止まらず、受講生は8名。現在、全講義、コミュニケーション実習を終え、残すは外出実習のみとなっています。講義は夜遅くまであり、遠方からお越しの受講生も大変だったと思いますが、遅刻することなく皆さん出席されました。きっとこの原稿が読まれる頃には8名の受講生が修了しています。そして、願わくは、はいびすかすに一人でも多くの受講生がヘルパー登録し、活動してくれることを願っております。

さて、話は変わりますが1月1日から同行援護を開始しました。現在、契約者がおりません。同行援護従業者資格をお持ちのヘルパーも募集中です。はいびすかすの登録ヘルパーも今年に入って5名が離職しました。そんな訳で、随時、サポートセンターはいびすかすでは登録ヘルパーを募集しております。知的障がい課程の移動支援従業者資格、介護福祉士、ヘルパー2級相当の資格をお持ちの方は是非、ご登録をお願い致します。移動支援はニーズはありますが、ガイドヘルパーが不足しているために十分に依頼に答えられていないのが現状です。まだまだ、利用したいという声は沢山あります。平日なら30分の支援から、土日は4時間から6時間程度の依頼があります。時給は1,300円から。沢山の方からの登録をお待ちしております。お知り合いの方でヘルパー登録して頂ける方がおられましたら是非、ご紹介ください。よろしくお願い致します。

(はいびすかす 徳野裕希)

## 法人本部よりの報告

### ～新しい事業所が仲間入り～

## 児童発達支援 放課後等デイサービス

## さくらクラブのご紹介



2013年4月に、児童を対象とした法人の新たな事業として『あじさいクラブ』が開設されてから、おかげさまで2年を迎えることとなりました。これも皆様のご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

また今年の3月より、『あじさいクラブ』の従たる事業所として、高槻市大冠町に新事業所『さくらクラブ』が開設されました。

『あじさいクラブ』と同様に『さくらクラブ』では、

- ① 未就学(3～6歳)の発達に課題のある児童を対象とした「児童発達支援」
- ② 学齢期(6～18歳)の支援が必要な児童を対象とした「放課後等デイサービス」

の、二つの事業を行っております。

定員は①と②を合わせて1日につき10名です。

これまで『あじさいクラブ』では、子どもの主体的な活動のお手伝いをする「通う場」として、自立に向けた支援を行ってまいりました。

『さくらクラブ』でも、『あじさいクラブ』で取り組んできた活動を受け継ぎ、旬の食材を使った季節

の行事にちなんだメニューのおやつ作りや、近隣の公園などへの散策などを通して、経験を積む、集団行動のルールを理解する、出来ることを増やす、などの力を身につけて頂けるような支援を目指しております。

『さくらクラブ』は高槻市大冠町の、元々は保育園だったという広々とした施設に開設されました。

施設名の「さくら」の由来は、敷地内にたまたま桜の木が植えてあった事から来ています。送迎車も敷地内に停める事が出来るほど広いので、春はお花見、夏はプール、秋は落ち葉拾い、冬は雪合戦?と、利用者さんに自然の恵みをたくさん感じて頂けるのではないかなと期待しております。

ちょうどこのニュースが発行される頃には、桜の満開を迎えているのではないのでしょうか。

今後も『あじさいクラブ』と連携を取りながら、利用者さんの個々の育ちについて、ご家族・本人と共に考えて行きたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

(さくらクラブ 岩崎麻里)

さくらクラブ(開所日 月～金)  
〒569-0031  
高槻市大冠町3丁目13-1  
Tel 072-674-6790  
Fax 072-674-6791





## 鯨岡峻氏講演会の報告



2月14日、「鯨岡峻氏講演会」～目に見えない心と心のふれあいをエピソード

いただきました。

「花の会」が大切にしてきた“心と心の交流”そのものが“心を育む”支援の基本となっているのだということ、改めて心に留め日々の活動に取り組んでいきたいと思えます。

(共働舎花の会 山口由美子)

に繰る〜と題して、法人主催講演会を実施しました。当日は当法人関係者だけでなく、保育・教育現場の方たちにもご参加いただき、満席での開催となりました。

講師の鯨岡氏より、行動中心主義（支援者が客観的な立場に立ち、目に見える行動に対して働きかけを行う）を脱し、“接面”（支援者も場面を共有する当事者という立場に立ち、目に見えない心の動きを感じ取る）を通して“心を育む”ことが自立へとつながる支援である、と具体例をあげてお話していた



## 日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団様から、平成26年度助成金の交付を受けて、下記の事業を完了致しました。

生活介護と児童発達支援・放課後等デイサービスの両事業の送迎を行う車両を新たに整備することが出来ました。ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

### スイートピー

事業名：送迎車の整備  
整備車両：ホンダ ステップワゴン  
事業費総額：158万円  
助成金額：126万円  
施設名称：第4共働舎花の会  
施設所在地：高槻市栄町2-50-23  
完了年月日：平成27年3月23日



### さくらクラブ

事業名：送迎車の整備  
整備車両：ホンダ ステップワゴン  
事業費総額：158万円  
助成金額：126万円  
施設名称：あじさいクラブ  
施設所在地：高槻市郡家新町62-13  
完了年月日：平成27年3月23日



花の会よりの報告 花の会・家族会・後援会・みんなの会

# 花の会総会・交流会のご案内

花の会は1983年にスタートし、今年で32年目を迎えました。“社会福祉法人花の会”が1998年に立ち上がり、“花の会”は組織としては「任意団体」という位置づけになります。2つの花の会があることでわかりにくい面もありますが、“花の会”の活動の1年の振り返り、次の活動への目標を皆さんと確認する場として、例年、6月に総会を開催しています。午前中の内容はメンバーの皆さんには少しわかりにくい事が多いかもしれませんが、それでも毎年みんな席に座って真剣に参加している姿が印象的です。

午後からは交流会・祝賀会も開催される予定です。毎年、みんなの会(当事者活動)のメンバーが司会進行を務めます。新規事業の祝賀会も含めて事業所ごとに歌、ダンス、クイズなどの出し物で大いに盛り上がり、家族やワーカー、来賓の皆さんとの楽しい交流の場となっています。

花の会の会員数はメンバー、家族、ワーカー、団体加入の友花会や第3共働舎を含めると400人以上になります。現在の課題として、法人が出来てか

ら花の会に参加したワーカー・メンバー・家族にとっては任意団体“花の会”の活動がわかりにくいこと、組織の規模が大きくなっていく中で思いの共有が年々難しくなってきたことなどがあげられます。しかし、迫り来るメンバー、家族の高齢化問題、新たな生活の場や日中活動の展開を考える時、会員の団結や協力なしでは前に進む事ができません。次回の総会では“花の会”の役割やこれからの方向性を明確に示すことが求められます。今後の活動を一緒に考える交流の場として、出来るだけ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

(花の会事務長 牛嶋亮)

2015年度 第32回総会・交流会

日程 6月13日(土)

時間 10:00~14:00

場所 高槻現代劇場文化ホール3階  
レセプションルーム

## 後援会より

### 映画会 世界一すてきな僕たち私たちへ



3月3日(火)高槻市生涯学習センター多目的ホールで3回上映、373名の方々に観ていただきました。春とはいえまだ寒い毎日でお天気も心配でしたが、晴れて比較的暖かい日になりました。

当日は、この映画の監督の宮崎信恵さんがわざわざ東京からお越しくださいました。音楽監督は、高槻市在住の作曲家十河陽一さんです。2回目と3回目の上映ではお二人にステージからメッセージをいただきました。東京の江東区にある障がい児の放課

後活動施設を3年間に渡って撮影したドキュメンタリーで、自閉症や知的障がいの子もたちがさまざまなできごとを通して成長していく姿を描いたものです。映画は、子どもたちの「ありのまま」に寄り添い自発的な気づきを信じてゆっくり「待つこと」を、伝えていきます。

開催に際しまして高槻市社会福祉協議会、高槻市教育委員会のご後援をいただきました。厚くお礼を申し上げます。(後援会 白石)



## みんなの会より

# ピープルファースト大阪全体会議のご報告

1月24日(土)にピープルファースト大阪全体会議を第2共働舎花の会であり、今回は花の会からメンバーが4名参加しました。会議の初めに会議に出席している他の事業所の方に花の会の紹介、どんな仕事をしているかということを中心に緊張しながら話しました。私はみんなの会(当事者会)の活動について説明しました。

今回の会議の主な議題は昨年行なわれた障大連セミナーの振り返りと、次回の活動内容「バレンタイン企画」についてでした。バレンタイン企画の話は盛り上がり、最後は「デートの誘い方選手権」を行なうことが決まりました。以前に参加したバレンタイン企画より過激な話になってきたなあと思いました。

そして、いよいよ「バレンタイン企画」本番、2月21日(土)。まず1月24日に選ばれた男性4名

がデートの誘い方の発表をしました。発表の時はタレントの写真に向かい声をかけるのですが、私は来てる女性メンバーを選んでその人をデートに誘ったらよかったんじゃないかなと思いました。さてデートプランは男性だけでなく女性も発表し、みんなどのプランが一番よかったのが意見交換をしました。いいプランもありましたが、実際にデートをするのは難しいかもしれないなあと思いました。

ピープルファースト全体会議、バレンタイン企画と参加するメンバーも増えてきているのもっとたくさんのメンバーが参加してもらえよう頑張っていきたいです。

(みんなの会代表 篠原芽久美)



## 成年後見制度学習会を開催しました!

3月15日(日)花の会定例会終了後、「学ぼう! 親族後見」と題し、講師にNPO法人上野丘さつき家族会代表相良幸信氏を迎え、学習会を行いました。

実際に取り組まれている事例を交えながら、分かりやすくご説明いただきました。「後見監督人を選任された」という事例においては、被後見人に財産があれば、親族だけでなく弁護士など第三者の人が監督人とすることがある。また親族後見を利用された場合、家庭裁判所に提出する報告書作成の負担を心配されている方が多かったですが、実際は、レシートを保管し、小額に至るまでの記載を求める複雑

な出納帳ではないことも分かりました。また親が高齢の場合、被後見人になる人のきょうだいも後見人となり、「複数後見(2人以上後見人がいること)」という形がとれるという話もありました。



花の会では引き続き成年後見制度の啓発活動と、実務研修会の実施を予定しています。

(成年後見制度利用検討委員: 平田昌史)

## 家族会より 1年間の活動と新年度に向けて

役員をさせていただいて、二回目の春が来ました。昨年度は、役員と班長の二本立てと言う初めての試みで、試行錯誤しながら取り組んでまいりました。特に、昨年度の班長さんは、全員が初めて役員をするという方ばかりだったのですが、皆さん積極的に取り組んでいただき、家族会の未来を頼もしく思いました。また、役員の中で、楽しい事をして行こうと、話し合っていたので、親睦会などはちょっと目新しい事をしたつもりなのですが、いかがでしたでしょうか?

そして、家族会費の見直しと言う点に目を向けて、皆様にアンケートのご協力やご協議頂いた事によって家族会員の高齢化や、会員数が増すことでの問題なども浮かび上がってまいりました。簡単に解決出来ることではありませんが、ひとつひとつ家族会員の皆様と共に解決して行こうと思っております。今年も、楽しい家族会になりますように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。

(家族会会長 阿部)

## 活動報告

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談					
1	13(火)	作品展応募締切	9(金)	事務局会議	5(月)	仕事始め メンバー給与日	5(月)	仕事始め	16-17	合宿研修@神戸しあ わせの村				
	26(月)	将来構想検討委員会 (第27回)									11(日)	友花会(伏見稲荷)	22	高槻カエルの会
	27(火)	ホーム運営懇話会												
2	3(火)	成年後見制度利用検討委員会(第31回)	1(土)	グループホーム かえで 開所	5(木)	メンバー給与日	1(日)	かえで開所	4-5	フォルク 個別支援会議				
	16(月)	将来構想検討委員会 (第28回)	6(金)	事務局会議	14(土)	職員研修(講演会)	7(土)	働く障害者の集い	14	花の会講演会				
	19(木)	将来構想WG	14(土)	法人 地域貢献講演 会(講師:鯨岡 峻氏)			11(祝)	ホーム余暇活動	19	就労ネット				
	20(金)	日中活動運営懇話会					12-13	近畿地区知的障害者 施設協会職員研修会	23~	ガイヘル研修				
	23(月)	成年後見制度WG					18(水)	レスバイト研修	26	高槻カエルの会				
							21(土)	GH総括会議						
						22(日)	友花会(神戸花鳥園)							
3	2(月)	成年後見制度利用検討委員会(第32回)	1(日)	児童発達・放課後デイ さくらクラブ 開所	5(木)	メンバー給与日	12(木)	高障連学習会	10まで	ガイヘル研修				
	3(火)	後援会・映画会	6(金)	事務局会議	13(金)	メンバーボーナス支 給日	18(水)	レスバイト研修	13	フォルク メンバー同窓 会				
	10(火)	役員会	8(日)	理事会・評議員会	28(土)	2014年度総括会議	19(木)	第53回ホーム定例会	19	就労ネット				
	15(日)	第148回定例会	13(金)	事務局会議	31(火)	2015年度方針会議	22(日)	友花会(姫路城)	25	事業所連絡会				
		成年後見制度学習会					25(水)	事業所連絡会定例会	26	高槻カエルの会				
	16(月)	成年後見GW					28(土)	総括・方針会議	未定	行動援護個別指導				
	24(火)	ホーム運営懇話会												
		将来構想GW												

2000年12月12日第三種郵便物承認 毎月1・2・3・4・5・6・7・8の日発行  
発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階 定価100円

## 活動予定

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談		
4	5(日)	家族会総会	3(金)	事務局会議	1(水)	新年度スタート	1(水)	新年度スタート	1(水)	新年度スタート	
	17-18	第6回花の会作品展			3(金)	メンバー給与日	12(日)	友花会(仁和寺花見)			
	20(月)	アクトアモーレにて 成年後見制度利用検討 委員会(第33回)			25(土)	花の会運動会	15(水)	ショート研修			
	28(火)	日中活動運営懇話会					25(土)	友花会(花の会運動 会)			
5			1(金)	事務局会議	2(土)	メンバー給与日	10(日)	友花会(予定)	21	就労ネット	
			9(土)	監事・監査(予定)	23(土)	バザー前日準備	20(水)	レスバイト研修			
			17(日)	理事・評議員会(予定)	24(日)	花の会バザー	24(日)	友花会バザー参加予定			
					25(月)	代休	25(月)	GH開所日			
							26(火)	ホーム運営懇話会			
6	13(土)	第32回 花の会総会 現代劇場3F レセプションルーム	5(金)	事務局会議	5(金)	メンバー給与日	15(月)	GH開所日	18	就労ネット	
							17(水)	レスバイト研修			
							28(日)	友花会(予定)			

## 編集後記

以前電車に乗った時のことですが、発車直前に車椅子に乗った方が乗車しようとしていました。それを見た他の乗客が手を貸そうとするのを丁寧に断り、ホームと車両との段差を自分の力だけで乗り越えて乗車されていました。たったそれだけのことですが、ハンディを持って生きることに向きあう姿を見て、不自由のない今の自分の生活を省みながら、見習わなくてはならないなと考えさせられました。(第2共働舎 井原頭子)

「公益信託 近藤きよ子記念福祉基金」助成金により取得した印刷機を使用して印刷された出版物です